

2014年度

# JICA研修コースの実績紹介

「大気汚染源管理」



2014年11月20日

(公財) 北九州国際技術協力協会 研修部

page 1

# 1. 研修コースの紹介

1) コースリーダー / 貴戸 東



2) 研修コース 名

- 和文： 集団研修 「大気汚染源管理コース」
- 英文： Air Pollution Source Management

3) 研修受入れ期間： 2014/5/14 ~ 2014/6/27

4) 参加研修員： 10名 (9カ国)

参加国内訳

ボツナワ、中国、エジプト、インド、モンゴル、セネガル、スリランカ、  
ウルグアイ、ベトナム

# 【参加研修員の国名】



世界各地から来日した研修員の皆さんが、JICA九州に集まり、大気汚染防止対策について技術研修を受けました。

## 2. 研修目標

### 案件 目標

大気汚染源管理に関する中央／地方政府における職員が、当該国において実施可能な大気汚染管理に関する基本政策を策定できるようになる。

### 自国での検討～実施



### 日本での研修



大気汚染測定の実習

#### 単元目標①

：研修員の自国における大気汚染源管理に関する課題とその要因を理解・整理する。

#### 単元目標②

：日本における大気汚染防止の行政政策を理解する。

#### 単元目標③

：大気汚染モニタリングおよび大気汚染物質の測定法を理解する。

#### 単元目標④

：大気汚染防止技術を理解する。

### 3. 研修員の達成度

研修員の皆さんは、非常に真面目で日本の経験と新しい技術を学習する意欲が強く感じられました。研修効果も高い結果が得られました。

参加国	アクションプランのテーマ	【コースリーダーから一言】 本研修で得た知識と経験を活かして。	研修達成度
ボツナワ	煙道排ガス測定と拡散モデル技術の向上	帰国後、ボツナワの大気汚染防止に期待します。	【合格】 APの評価は 最高点。
中華人民 共和国	NOX、ダスト、調理煙の排出削減	日本にも影響が及んでいると言われる北京市の大気汚染防止に貢献してくれるものと期待します。	【合格】 筆記試験結果 は最高点。
エジプト	クリーナープロダクション技術導入により古い工場の大気汚染防止技術の改善	エジプトにおける大気汚染の防止に貢献してくれることを期待します。	【合格】
インド	大気研究所の強化	デリーにおける大気汚染モニタリング能力を強化し汚染の原因究明に期待します。	【合格】
モンゴル	固定大気汚染源測定技術と機器保全の改善	ウランバートル市における重要な人材として大気汚染の防止に期待します。	【合格】
セネガル	工場からの大気汚染物質モニタリングの改善	セネガルにおける大気汚染の発生源を明らかにする努力を期待します。	【合格】

参加国	アクションプランのテーマ	【コースリーダーから一言】 本研修で得た知識と経験を活かして。	研修達成度
スリランカ A	工場排ガス規制のための大気汚染物質データベース作成	スリランカ国においては、現在、本コース修了者より「大気汚染物質の排出基準の策定」が進められている最中とのこと。帰国は当業務に大いに貢献してくれることを期待します。	【合格】
スリランカ B	スリランカ西州マラベ市の鋳物工場からの大気汚染管理	スリランカ西州における大気汚染防止に大いに貢献してくれることを期待します。	【合格】
ウルグアイ	環境大気モニタリングネットワークの改善	ウルグアイ／モンテビデオ市における大気汚染防止に貢献してくれることを期待します	【合格】
ベトナム	大気汚染防止法開発のための国家計画ドラフト作成	近年ベトナムでも悪化しつつある大気汚染防止に貢献してくれることを期待します	【合格】

## 4研修案件に対する考察

研修員に記入して頂いた週報を基に、研修科目の内容について評価を行いました。

	項目	高評価の研修内容
研修目標(1)	大気汚染防止の行政施策	「大気汚染防止の法制度」 「公害の歴史と現状」 ・10名の研修員中8人が非常に良かったと評価した。
研修目標(2)	大気汚染モニタリングと汚染物質の測定	「大気拡散理論・演習」 ・10名の研修員中8人が非常に良かったと評価した。
研修目標(3)	大気汚染防止技術	「クリーナープロダクション技術の導入」 「日産自動車工場見学」 ・10名の研修員中5人が非常に良かったと評価した。

## 5. 研修員スピーチ

# 研修員の感動スピーチ (於：閉講式)



閉講式でスピーチされたジョージさん  
(インドから参加されました)

## Mr. GEORGE Mohan Plathodathil (通称:ジョージさん)の謝辞 ～研修員代表～

◆和訳全文をご紹介します。

皆さん、こんばんは。

「言葉のない感謝には意味がない」と言われますが、私も同感です。従って、私は、高らかに、そしてはっきりと感謝を申し上げたい。



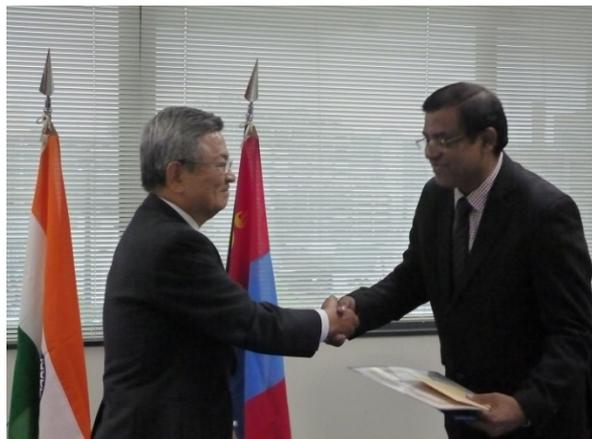
スピーチされたジョージさん。

9つの異なる国から来日した私の研修員仲間を代表して、大気汚染源管理という名門研修コースに参加する機会を与えてくださった日本政府、JICA並びにKITAに心より深謝申し上げます。

今回の研修コースは、コース設計も上手くなされており、高度に系統立てられており、細部に亘る講義、相互学習型のセッション、各種工場見学並びにモニタリング・解析に関する実地訓練といった研修内容、これらは、公害管理計画並びに評価に必要な基本的な要素ですが、それらが上手く組み込まれていました。

政府関係者と研究者、モデリング専門家とモニタリング専門家、研究施設とエンドユーザーが、それぞれの未来像と任務を示してくれました。

私は、研修を成功に導くために前面で活動して下さった方々のみならず、後方支援して下さった方々も含め、全てのチームメンバーに感謝申し上げます。  
このような重要な研修を準備することは、決して容易いことではありません、コース設計にはブレインストーミングも必要でしょうし、研修実施に当たっては大変なご苦労があったはずです。



閉講式で古野理事長より修了書を授与されたジョージさん。



古野理事長より修了書を授与された研修員の皆さん。  
(写真はアイシャさん／セネガルから参加)

私達が出会った方々、私達の滞在を快適にしてくださった方々、フロントデスクのスタッフの方々、JICA食堂の皆さん、清掃係の皆さんお一人お一人に感謝申し上げます。例えどんなに講師陣や技術的な知識が素晴らしくても、私達の滞在を心地よくするために努力して下さった方々がいなければ、この研修は成功とは言えなかったでしょう。

とりわけ、以下の方々のお名前を挙げずして私の義務が果たせたとはいえません。まずは、コースリーダーの貴戸東さん。ある時は講師として、また、ある時は他の講師の講義中にオブザーバーとして、いつも私達と一緒にいてくださいました。貴方は、研修中、ご自身が持つおられる知識を私達に伝授してくれ、また、常に私達を先導してくれました。本当にありがとうございました。

次に、研修監理員の松本さん。貴女の「オハヨー ゴザイマス」と「明日のスケジュールは・・・」という言葉が聞けなくなると、とても淋しいです。貴女は、研修員と講師の皆さんの橋渡しをしてくださいました。貴女がいなければ、意思疎通を図ることもできなかったことでしょう。研修や研修関連の問題点、また、文化や社会やショッピングモールや食べ物に至るまで様々な疑問点について大いに手助けしてくれました。貴女は、日々の活動において分刻みで細部に至るまで私達の面倒を見てくれました。



研修で企業訪問  
後列左から2番目が研修監査員の松本さん  
前列左が貴戸コースリーダー

もうひとつの特筆すべき行事として、ホームビジットがありました。日本人のご家庭への訪問をアレンジしてくださったKITAのお陰で、普段着の日本文化を知ることができました。ホストファミリーの選定のために影ながら努力して下さったKITAスタッフの皆さん、私達を家族の一員として迎え入れてくれ、多忙な中、終日共に過ごして下さいましたホストファミリーの皆さんに感謝申し上げます。

私達は、ホストファミリーの皆さんとご一緒できて楽しかったです。このホームビジットというプログラムは大変有意義なものだと思いました。ホストファミリーの皆さんにくれぐれもよろしくお伝え下さい。

また、日本語クラスも、私達が日本社会により早く馴染む手助けをしてくださいました。日本語クラスの先生方に感謝申し上げます。



ホストファミリーの皆さんとジョージさん



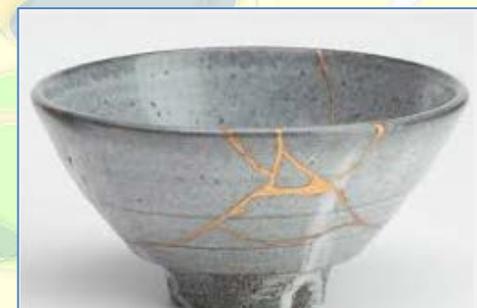
ホストファミリーの皆さんと研修員の皆さん  
(写真はホンハさん／ベトナムから参加)

お礼の言葉ばかりになってきましたが、ここで、私は大変印象に残ったことについてご報告したいと思います。もちろん、皆さんは講師陣の能力の高さを良くご存知ですから、ここで改めて公害について講義をするつもりはありません。

日本の皆さんは、先の3Rに続いて、4つ目と5つ目の「R」を私達に教えてくださいました。それは、次世代への責任(Responsibility)と人間同士の尊敬の念(Respecting)です。

私は、ここで、「金継」あるいは「わびさび」の哲学についても触れたいと思います。それは、いわゆる欠陥あるいは不完全なものを受け入れるという哲学であり、水俣病資料館、都市の真ん中にある溶鋳炉、北九州市の青い空、日本の美意識、価値観、使用後の摩耗の跡にも示されています。

その哲学は、壊れてしまったものを保持することの論理的根拠となります。「金継」の原理は、亀裂と修復を見せ場としていますが、それは、失敗や損傷や破損に気づいた時点で終わりにするのではなく、人生において失敗してもそれを好転させようと努力することになぞらえられます。そのような哲学は非常に感動的であり、意義深いものです。



無限のエネルギーで絡み合った階層が相乗効果を生み出す文化を間近で観察させて頂き、貴団体と責任者の皆さんに感謝してもしきれません。  
最後に、ウィリアム・シェイクスピアの言葉を借りて、私の挨拶を終えたいと思います。

**I can no other answer make, but thanks, and thanks.**

「お礼を言うより外はありません。ありがとう。」

皆さん、本当にありがとうございました。

## 6. 研修アルバム



JICA九州での講義(原口清史講師)



北九州LNG(株)の見学



北九州市環境ミュージアムで資源リサイクルの体験



水俣病資料館見学で訪問した水俣湾